

小さな気付きでつながる未来の安心 地域の見守りに参加しませんか

区は、地域の支え合いによる見守りのネットワークづくりに取り組んでいます(コード①)。日頃の生活の中や仕事に、「ちょっと気がかりなこと」があった時は、地域包括支援センターへご連絡ください。

岡福祉総合課地域ケア推進係 (☎5722-9385、FAX5722-9062)



見守りが命を守ることに つながることも

日常生活の中で、普段と様子の違うかたを見つけたことはありませんか。今はまだ大丈夫だったとしても、あなたが見守っていることで、後に困っているかたを救うきっかけにつながることもあります。

例えば

1 見守りサポーターAさんは、買い物の途中で、近所の1人暮らしのBさんの家のポストに郵便物がたまっていることに気が付き、心配になって、地域包括支援センターへ連絡しました。

2 地域包括支援センター職員が訪問するも不在。後に旅行に出かけていたことが分かりました。
今回の出来事を知ったBさんは、これを機に親族や近所との関わりや、いざという時のための備えを見直しました。

3 1年後、Bさんは急に自宅で体調不良になったものの、1年前に設置した非常通報システムのボタンを押して、コールセンターに通報。コールセンターから親族へ連絡、救急搬送されて熱中症と分かり、治療を受けることができました。

Aさんの気付きが、Bさんの将来のリスクに備えるきっかけになりました。
▶見守りネットワークキャラクター「まもりん」

見守りの形はいろいろあります

タイプ01 **ながらで見守る見守りサポーター**

買い物しながら、通勤しながら、散歩やウォーキングをしながら。日常生活の中で地域をゆるやかに見守り、ちょっと気がかりなことがあった時に、地域包括支援センターに連絡していただく見守りの担い手です。
登録は不要で、周りを少し気にかける気持ちさえあれば、いつでも始められる見守り活動です。

タイプ02 **仕事をしながら地域を見守る見守りめぐねっと**

地域の団体・商店・企業に登録していただき、業務中に、お客さんの様子がいつもと違うなどちょっと気がかりなことがあった時に、地域包括支援センターに連絡していただく見守りネットワークです。11月30日現在、25団体、4機関、450事業者が登録しています。

見守りサポーター養成講座
「実例から考える みんなで見守るまちめぐろ」

見守りの担い手が増えるほど、地域のつながりや防犯力が強化され、安心な暮らしの土台となります。活動例や現場の声などを基に、効果的な見守りを一緒に考えませんか。

時7年2月28日(金) 10:30~12:00 場総合庁舎本館地下1階第15会議室
定①来場30人②会議アプリWebex(ウェベックス)によるオンライン30人(各先着)
申区(コード②)、電話、FAX(見守りサポーター養成講座と明記の上、氏名(ふりがな)、電話、希望参加方法①または②、手話通訳・保育希望者はその旨を記入)で、12月16日~7年1月24日に、福祉総合課地域ケア推進係 (☎5722-9385、FAX5722-9062)へ

オンラインでも受講できます

見守りの相談・連絡はこちらへ

地域包括支援センター

連絡を受けた地域包括支援センターは、状況を確認した上で、必要な支援を検討しサポートしていきます。連絡いただいたかたの情報を相手にお話しすることはありません。安心してご連絡ください(コード③)。

時月~土曜日8:30~19:00(土曜日は17:00まで。祝・休日、12月29日~7年1月3日を除く)

北部	大橋1-5-1 クロスエアタワー9階	☎5428-6891、FAX3496-5215
東部	総合庁舎本館1階	☎5724-8030、FAX3715-1076
中央	中央町2-9-13 食販ビル内	☎5724-8066、FAX5722-9803
南部	碑文谷1-18-14 碑小学校内南西側	☎5724-8033、FAX3719-2031
西部	柿の木坂1-28-10	☎5701-7244、FAX3723-3432

目黒区からの情報を発信中!

めぐる区報 電子書籍版 (※)

区 ウェブサイト

区公式YouTubeチャンネル めぐるTV

区公式X (IBTwitter)

区LINE 公式

※めぐる区報電子書籍版は、多言語でご覧になれます。Meguro City Newsletter e-book version is available in multiple languages.